

訂 正 表

『土地家屋調査士 記述式過去問マスター I 土地編』【第九版】におきまして、以下のよう
な誤りが判明いたしました。お客様にご迷惑をおかけしましたこととお詫びしますとともに、
下記のように修正いただきますようお願い申し上げます。

東京法経学院

(令和 8 年 9 月 1 日更新)

該当箇所	訂正内容等
p.67 A-2-2〔H4-16〕 (注)4 求積は、座標値を求めて座標法により計算し、 <u>その計算過程を添付図面中に明らかに</u> すること。	⇒下線部を削除 (注)4 求積は、座標値を求めて座標法により計算すること。
p.129 A-3-4〔H7-16〕 本文上から 4 行め ……の敷地となる <u>(イ)</u> の部分と残地となる <u>(ロ)</u> の部分とに……	⇒下線部を修正 ……の敷地となる <u>(ロ)</u> の部分と残地となる <u>(イ)</u> の部分とに……
p.299 A-3-12〔R3-21〕 解答例① 第 2 欄 イ 土地の位置	⇒「土地の」を削除 位 置
p.396 A-4-4〔H8-16〕〈解答へのアプローチ〉 1. 申請人の記載 下から 2 行め ……親権者甲野澄子を <u>復代理人として</u> 記載すべきであると考え。	⇒下線部を削除 ……親権者甲野澄子を記載すべきであると考え。
p.495 A-4-9〔H30-21〕 解答例① 第 2 欄 ウ <u>登録</u> された	⇒下線部を修正 <u>登記</u> された
p.496 A-4-9〔H30-21〕 解答例① 第 3 欄 土地の表示 所 在 A 市 <u>C</u> 町三丁目	⇒下線部を修正 A 市 <u>B</u> 町三丁目
p.647 A-7-1〔H18-21〕 下から 3 行め ∴ (注)……	⇒∴を削除 (注)……